



# 組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」 全ての子どもが安心して2学期を迎えるために

西部教育局  
お役立ち情報  
令和6年7月号



**学期末の終わり方**や**夏休みの過ごし方**は、2学期のスタートに重要な意味をもちます。全ての子どもが安心して2学期を迎えるための取組について、学校全体で共通理解を図りましょう。

## 共通理解を図るテーマ例① 2学期につながる期末懇談の実施について

期末懇談は、保護者の方に「〇〇さんのことを一緒に考えていきたい。」という思いを直接伝えることのできる絶好の機会です。短い時間の中でも、保護者の方が「話せてよかった」と思ってもらえるような時間にしましょう。

### 子どもの様子を具体的な場面を通じた姿で伝える

〇〇さん、よく頑張っていますよ！お家での様子はどうですか？

うちの子、何をがんばっているのかしら？

体育祭の時に、グッズ係として最後まで丁寧に制作してくれました。

家庭科の時に、ボタン付けができなくて困っている友だちに優しく声をかけて一緒に作ってくれました。

保護者は、学校での子どもの様子を知るために来校されます。忙しいなか時間を割いて来てもらった保護者に学習状況や学校生活での様子を、より**具体的な姿**で伝えることが重要です。そのためにも、日々の活動のなかで「**みる・きく・認める**」から始まる児童生徒理解を今一度意識してみましょう。

### 子どもや保護者の気持ちに寄り添って伝える

〇〇さん、授業中に席を立つことが多くて。何度も言ってるんですが、お家でもお願いします。

落ち着きがないことはずっと言われている。一体どうしたらいいの？

〇〇の教科の授業で、とても集中して学習に取り組んでいましたよ。

席を立つときには、何か困っていることがあるかもしれません。私には言いにくいかもしれませんが、お家でも話を聞いてあげてもらえますか？  
**一緒に作戦を考えていきましょう。**

本人の困り感などの背景を考えたり、困っていることなかでもよい方に**変化したことを**伝えたりするなど、**子どもの気持ちに寄り添った伝え方**を考えることも大切です。

## 共通理解を図るテーマ例② 夏休み中の子どもを見守る取組について

### 2学期のスタートに不安を抱きそうな子どもの姿を想定してみましょう。

現在は出席して頑張っているが、前年度までに不登校経験があった。



頑張りすぎた1学期の反動  
モチベーションの低下  
2学期への不安  
基本的な生活習慣の乱れ



学業不振や友人とのトラブル等、精神的動揺が生じる出来事があった。



1学期や前年度までの実態から、夏休みの宿題を完了させることが困難だと予想される。

家庭で十分なサポートが得られにくく、昼夜逆転等、生活が乱れる可能性がある。

大きな行事に対してプレッシャーを感じやすい。

### ～夏季休業前や夏季休業中の支援(例)～

- 児童生徒と一緒に夏季休業中の計画を立てる。
- 悩みごとや困ったことがあった時の相談方法について話し合う。
- 夏季休業中の登校日を設定したり、部活動等の参加日を確認したりする。
- 電話連絡や家庭訪問を実施し、夏休み中の状況を把握する。

2学期に向けて、何か気になることはないかな？

終わっていない宿題を学校で先生と一緒にやらない？

